

東久留米の蝶の仲間(1月から6月に観察した蝶の仲間)No.1



アゲハチョウ



ジャコウアゲハ



アオスジアゲハ



クロアゲハ



モンシロチョウ



スジグロシロチョウ



モンキチョウ



キチョウ

市内で観察できるアゲハ蝶の仲間は、他に『カラスアゲハ』、『オナガアゲハ』、『ナガサキアゲハ』などがいます。その他『キアゲハ』がいますが、最近では環境の変化などで観察できるのは年間でも数例になっています。

シロチョウの仲間では、春先に観察できる『ツマキチョウ』を紹介します。昨年から観察しており、意外とこのチョウの存在に気付かない人が多いようです。4月前後の短い期間ですが運が良ければ観察できます。

東久留米の蝶の仲間(1月から6月に観察した蝶の仲間)No.2



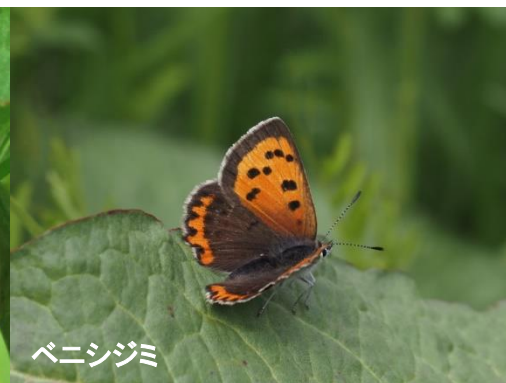
ツマキチョウ



ヤマトシジミ



ベニシジミ



ベニシジミ



ルリシジミ



ミズイロオナガシジミ



アカシジミ



ヒメアカタテハ

シジミチョウの仲間の中、『ヤマトシジミ』と『ベニシジミ』は年間を通して観察できる種類です。5月前後になると『ルリシジミ』や『ミズイロオナガシジミ』、『アカシジミ』などを観察できるようになります。忙しく縦横無尽に飛びまわる事から撮影チャンスを捉えることが難しい種類の一つです。

東久留米の蝶の仲間(1月から6月に観察した蝶の仲間)No.3



キタテハ



キタテハ



ルリタテハ



ルリタテハ



ミドリヒョウモン



ツマグロヒョウモン♂



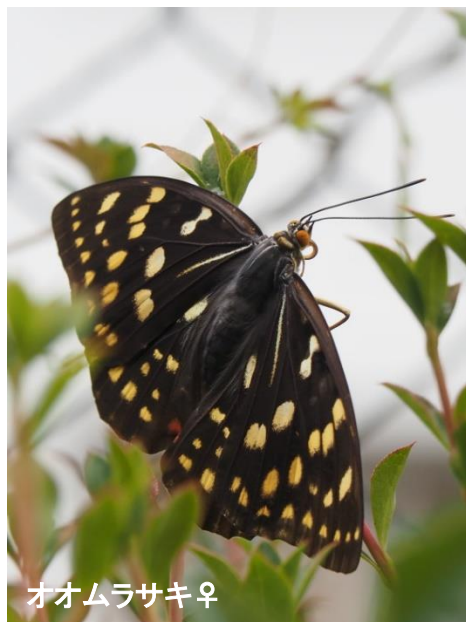
ツマグロヒョウモン♀



イチモンジチョウ

タテハチョウの仲間は、『ヒメアカタテハ』や『キタテハ』などが市内でも比較的多く観察できます。この仲間は、一つの場所に留まる事が少なく、『ルリタテハ』は特に動きの早い蝶の一つです。『ミドリヒョウモン』は初めて市内で観察した種類になります。『ツマグロヒョウモン』に似ていますが文様やオレンジ色が濃いなどの違いのある事から、過去に写していた写真と見比べましたが合致するものはありませんでした。

東久留米の蝶の仲間(1月から6月に観察した蝶の仲間)No.4



オオムラサキ♀



オオムラサキ♀



オオムラサキ♀



ホシミスジ



コムスジ



ヒメジャノメ



ヒメジャノメ



コジャノメ

『オオムラサキ』は市内愛好家から譲り受けて我が家で羽化したものです。数日間一緒に過ごしたこともあり、手乗りの感触を味わい、『国蝶』ならではの色合いや大きさなどに見とれました。市内では数は少ないが7月末ごろから『コムラサキ』も観察できます。

東久留米の蝶の仲間(1月から6月に観察した蝶の仲間)No.5



サトキマダラヒカゲ



ヤマキマダラヒカゲ



ヒカゲチョウ



クロコノマチョウ



アカボシゴマダラ



テングチョウ



ダイミョウセセリ



キマダラセセリ

『コジャノメ』と『ヒメジャノメ』は後翅裏面の大きな目玉模様の上に並ぶ小さな目玉模様の数が4つ(ヒメジャノメは3つ)の違いがあるそうです。昨年、偶然に知った情報です。『サトキマダラヒカゲ』と『ヤマキマダラヒカゲ』の違いも僅かなもので、紋の黄斑の濃淡や『3班紋』が直線状かくの字状かなどの違いのようです。紹介したヤマキマダラヒカゲも『3班紋』がくの字状です??が未同定です。『アカボシゴマダラ』は春頃に現れる白化型と言われる翅の白っぽいタイプのものです。